

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設 指定管理者	県民ホール（本館・芸術劇場） 公益財団法人神奈川芸術文化財団		
指定期間	H22.4.1	～	H28.3.31
施設所管課	文化課（※本館 H23.4.1～H28.3.31 芸術劇場 H22.4.1～H28.3.31）		

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 事業面では、県民ホール本館が25年12月から改修工事により休館となる中、本館及び芸術劇場が連携して、「第20回神奈川国際芸術フェスティバル」などを開催し、多彩な内容の事業を集中して実施するとともに、また本館休館中に芸術劇場のスタジオを利用してギャラリー企画展を行うなど、一体運営を活かした事業展開を行うことができた。 また、施設の管理運営について、サービス向上や利用料収入増等の取組みを継続して実施するとともに、事業収入の確保や助成金等外部資金の獲得にも努めているなど、適切な管理運営が行われている。 以上のことから、事業計画、仕様書等の内容どおりに業務を実施していることから、B評価とした。</p> <p>< 2 収支状況 > 下半期の収支計画に対して、上半期に予定した公演等に係る経費支出が下半期の執行となったため、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じたことから、C評価となった。 なお、年間を通じた収支状況は、ほぼ計画額どおりとなっている。</p> <p>< 3 利用状況 > 下半期の利用者数について、目標対比増減率が105%以上であることから、A評価となった。 なお、県民ホール本館が25年12月から改修工事により休館している影響を考慮し、目標値を調整して評価した。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > 下半期に実施した利用者満足度の結果、「満足」と答えた割合が80%以上であることから、A評価となった。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > 下半期の苦情・要望等の件数は、本館及び芸術劇場合わせて119件であるが、主に施設のバリアフリーに関する苦情や設備の案内等に関する苦情等であり、適切に対応していることから、B評価となった。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 下半期の事故・不祥事については2件報告されており、県民ホール本館の雨漏りと、芸術劇場のガラスポスターケースが深夜に割られたものであるが、いずれもその後の応急対応等が適切に行われていることから、B評価とした。</p> <p>< 今後の方針等 > 本館では、26年10月のリニューアルオープンと開館40周年に向けた事業が企画されているなど、引き続き多彩な内容の事業展開により県民の鑑賞機会を提供するとともに、芸術劇場における舞台芸術等の創造発信・地域の賑わいづくりの創出に向けて、更なる利用者数及び利用料金収入の増加に取り組んでいく必要がある。</p>

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
<p>1</p> <p>(指定管理業務)</p>	<p>施設管理の実施方針 ア 一体運営について <提案内容の概要> ・県民ホール本館と芸術劇場との一体運営により、賑わいの創出と魅力ある地域づくりを行う。 ・一体運営により管理運営の効率化をはかる。顧客サービス向上とコスト削減の取組みとして、利用受付業務、チケットセンター業務、経理・庶務業務、広報・営業部門業務について、業務を統合・集中および延べ配置人数の低減等を行う。同一内容の業務に関しては、共通業務として一体的に委託する。 ・管理運営面において、清掃業務、受付案内業務、駐車場管理業務、保安警備業務等を共通委託する。両施設に共通する保守点検に関する業務もできる限り一体的に実施する。</p>	<p><実施状況> ・両館で連携して、「第20回神奈川国際芸術フェスティバル」を実施し、広い世代にわたる観客を対象とした多彩な内容の事業を集中して展開し、フェスティバルならではの華やかで独創的な舞台芸術等の創造発信を行うとともに芸術文化による賑わいの創出に取り組んだ。 ・横浜市と連携し「横浜音祭り2013 音楽の海へ」に広報連携プログラムとして参画し、横浜を中心とする地域の文化振興、エリアの賑わいの創出に取り組んだ。本館からは、「ファンタスティック・ガラコンサート2013」、一柳慧プロデュース「Avanti! 室内アンサンブル」、「今井奈緒子パイプオルガン・リサイタル」、「第89回舞台芸術講座 チェンパロの魅力Ⅱ」が、芸術劇場からは、渋谷さくらズ大オーケストラ「天幕渋谷〜龍輦MANDALA」が参画した。 ・全体的な広報営業業務を、広報営業課において一元的に行い、それぞれで開催される催しに互いのチラシを挟み込む等、公演告知の強化に取り組んだ。 ・公演後に立ち寄れる飲食店を紹介するマップを両館統一で作成・配布し、サービス向上と地域の賑わいの創出を図った。 ・利用受付業務において、利用者に互いの施設や駐車場の案内紹介を行うとともに、備品を融通しあう等、効率的な運営に努めた。 ・平成26年4月からの消費税増税に伴い、利用料金等の取扱いについて統一した告知を行った。さらに利用受付システムの改修についても本館で作業の進行管理を一元化し実施した。 ・チケットセンター業務を同一業者で行うほか、清掃、受付案内、駐車場管理、保安警備、中央監視・点検業務は、本館とKAATの業務を一括してプロポーザル方式で業者を選定。スケールメリットを生かした価格となった。</p> <p><本館の改修工事にともなう休館以降について> ・工事休館中の12月以降、本館の利用希望者に対し芸術劇場を紹介する等の案内を行った。 ・利用希望者の多いギャラリーについては、休館前に可能な限り一般利用可能日数を確保するとともに、主催事業としてギャラリー企画展「日常／オフレコ」「アートコンプレックス2014」を芸術劇場のスタッフの協力のもと芸術劇場の中小スタジオにて開催することにより、一体運営の成果につながった。</p> <p>・本館チケットセンターの窓口業務については、芸術劇場のチケットカウンターを拡充し、本館休館中の窓口業務に支障が生じないよう対応した。</p>

		<p><12月からの改修工事にもなう休館対応について（本館）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者や来館者に対して混乱のないよう告知を綿密に行った。10月からは平成26年10月利用の抽選会も始まり、抽選参加者に対してもクレームがないよう対応した。工事施工業者とも工事の進行について綿密な打合せ（定例週間会議の実施）を行い、内部各部門の情報共有、周囲への騒音発生のお知らせ等の告知にも細やかに取組み、改修工事を円滑に進行させた。 <p>改修工事内容：外壁補修工事、屋上防水工事、耐震補強工事、エレベータ更新（県執行）</p> <p><休館期間を利用したアメニティ向上の取組みについて（本館）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・財団でも独自に休館期間を利用し改修等、アメニティ向上に取り組んだ。 ・平成25年12月～平成26年3月までに財団側で行った主な改修、工事等 <p>大ホール：階段手すりの設置、コーヒーカウンターの設置、楽屋内の改装、楽屋内椅子の入替、トイレの改修、客席椅子の洗浄、客席扉の張替、各所モニターの増設、物販用展示パネル、ボードの新設、もぎり台の修理ほか</p> <p>小ホール：ロビー椅子の張替、楽屋内椅子の入替、もぎり台の修理ほか</p> <p>ギャラリー：受付台の修理、控え室の改装ほか</p> <p>エントランスロビーほか：トイレの改修、ロビー椅子の入替、防火扉の増設ほか</p> <p><その他休館中の対応（本館）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修会等の実施について <p>職員のスキル向上のための研修を継続的に実施した。</p> <p>内容：第1回「「ホール利用における諸問題の対応について」、第2回「舞台技術を知る」、第3回「公立文化施設のPR活動について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルの見直し等の各種マニュアルの整備や舞台関係の備品等の整備や倉庫の整理を実施した。
--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【芸術劇場】

<提案内容の概要>

モノを「つくる」、人を「つくる」、まちを「つくる」という三つの「つくる」をミッションとする創造型劇場として、芸術監督による企画・演出作品をはじめ、国内の優れたアーティストを起用した主催公演や、気鋭のカンパニーとの提携による新作公演などを実施すると共に、制作会社や大手プロモーターとのネットワークによる貸館公演等、多彩で魅力的なプログラムを展開していく。

また、本館との一体運営による総合的な事業、インターンシップの受け入れによる人材育成普及事業の実施を通してミッションの実現を図っていく。

a) 芸術文化創造事業として、芸術監督の演出若しくは企画による作品の制作などの企画事業と、制作会社や興行会社とのネットワークにより多彩で魅力的なプログラムを実施する提携事業の2本柱で展開。

b) 国際芸術創造事業として、世界に開かれた国際都市横浜の立地を最大限に活かすべく、海外のアーティストとの共同制作等国際色豊かな事業展開を実施。

c) 人材育成普及事業として、舞台芸術を支える人材を育成するインターンシップの受け入れと指導などを実施。

【芸術劇場】

●ホール

○主催事業

第20回神奈川国際芸術フェスティバル

・ 渋さ知らズ大オーケストラ×KAAT『天幕渋さ船～龍轍 MANDALA～』 10月5日(土)～6日(日) 入場者数1,242人

・ 『ロスト・イン・ヨンカーズ』 12月3日(火)～8日(日) 入場者数5,092人

○提携事業

・ オフ・ブロードウェイ・ミュージカル『フォーエヴァー・ブラッド』 10月12日(土)～13日(日) 入場者数1,949人

・ ミュージカル『スクールジ』～クリスマス・キャロル～ 12月25日(水) 入場者数1,993人

・ 美輪明宏『ロマンティック音楽会』 1月18日(土)～19日(日) 入場者数2,126人

・ Noisml『PLAY 2 PLAY—干渉する次元』(改訂版再演) 1月24日(金)～25日(土) 入場者数1,280人

・ 『が～まるちょぼサイレントコメディJAPAN TOUR 2014』 1月31日(金)～2月2日(日) 入場者数2,687人

・ 『Char 2014 TRADROCK Tour横浜Special』 3月22日(土) 入場者数1,011人

●大スタジオ

○主催事業

・ KAAT×劇団唐ゼミ☆合同公演『唐版 滝の白糸』 11月9日(土)～17日(日) 入場者数1,337人

・ チェルフィッチュ『地面と床』 12月14日(土)～23日(月祝) 入場者数1,938人

・ KAAT竹本駒之助公演第二弾『太平記忠臣講釈』七段目「書置の段」 2月1日(土)～2日(日) 入場者数282人

・ KAAT×地点共同制作作品第4弾『悪霊』 3月10日(月)～23日(日) 入場者数1,346人

○提携事業

・ 青年団国際演劇交流プロジェクト2013ジュヌヴィリエ国立演劇センター・こまばアゴラ劇場 国際共同事業『愛のおわり』日本版 10月11日(金)～14日(月祝) 入場者数512人

・ 劇団こふく劇場プロデュース公演#19 みやざき◎まあるい劇場『奏でる』 10月26日(土)～27日(日) 入場者数102人

・ マームとジプシー『モモノパノラマ』 11月21日(木)～12月1日(日) 入場者数1,647人

・ 『フローズン・ビーチ』 1月23日(木)～26日(日) 入場者数624人

・ デフ・パペットシアター・ひとみ結成30周年記念作品『森と夜と世界の果てへの旅』 3月28日(金)～30日(日) 入場者数665人

●中・小スタジオ

○主催事業

・ 竹本駒之助KAAT初お目見得公演『和田合戦女舞鶴』三段目ノ切「市若丸初陣の段」 11月1日(金)～2日(土) 入場者数238人

○提携事業

・ イデビアン・クルー『麻痺 引き出し 嫉妬』 10月5日(土)～7日(月) 入場者数628人

・ 白神ももこ×酒井幸菜『Stick&uS～私たちと棒～』 10月11日(金)～13日(日) 入場者数236人

・ 池田扶美代×山田うん『amness』 10月18日(金)～20日(日) 入場者数392人

・ 東京ELECTROCK STAIRS vol.8『つまるどころ よいん』 10月22日(火)～27日(日) 入場者数442人

●国際交流事業<国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2014 (TPAM in Yokohama 2014) 2月11日(火祝)～2月16日(日)>

- ・野村政之ディレクション蓮沼執太『作曲：ニューフィール』 2月11日(火祝) 入場者数784人(ホール)
- ・野村政之ディレクション範宙遊泳『幼女X』 2月12日(水)～13日(木) 入場者数299人(中スタジオ)
- ・横堀ふみディレクション筒井潤+新長田で踊る人々『新長田のダンス事情』/ショーネッド・ヒューズ『Aomori, Aomori』 2月13日(木)～14日(金) 入場者数227人(大スタジオ)
- ・インターナショナル・ショーケース【仏】 話し言葉の百科全書/ジョリス・ラコスト『コラル』(日本語バージョン) 2月13日(木)～14日(金) 入場者数435人(アトリウム・ホールビュッフェ)
- ・インターナショナル・ショーケース【中国】 シャオ・クウ × チョウ・ツウ・ハン『We apologize to inform you』 “遺憾ながらお知らせします：それは誤りです” 2月13日(木) 入場者数130人(大スタジオ ホワイエ)
- ・インターナショナル・ショーケース【中国】 シャオ・クウ × チョウ・ツウ・ハン『We apologize to inform you』 “遺憾ながらお知らせします：それは依然として誤りです” 2月14日(金) 入場者数63人(大スタジオ ホワイエ)
- ・インターナショナル・ショーケース【中国】 シャオ・クウ × チョウ・ツウ・ハン『We apologize to inform you』 “遺憾ながらお知らせします：それがあなたに唯一できることです” 2月15日(土) 入場者数127人(アトリウム)
- ・インターナショナル・ショーケース【韓国】 チョン・ウニョン『(Off) Stage/Masterclass』 2月15日(土) 入場者数119人(ホール)
- ・舞台芸術AIRミーティング@TPAM関連企画朝鮮半島の伝統舞踊と出会おう！『コリアン・ダンス (North & South) ワークショップ』 2月15日(土) 入場者数2名(中スタジオ)
- ・TPAMショーケース カタルシツ『賽の河原』 2月14日(金)～16日(日) 入場者数210人(アトリウム)
- ・インターナショナル・ショーケース【フィンランド×JCDN】 エルヴィ・シレン『KITE』/坂本公成『灰が降る』 2月16日(日) 入場者数139人(大スタジオ)

●教育普及事業

- ・渋さ知らズ大オーケストラ『天幕渋さ船～龍轍MANDALA～』ダンスワークショップ 9月20日(金)～10月6日(日) 入場者数30人(アトリエ)
- ・渋さ知らズ大オーケストラ『天幕渋さ船～龍轍MANDALA～』美術ワークショップ 9月20日(金)～10月6日(日) 入場者数15人(中小スタジオ)
- ・KAAT×劇団唐ゼミ☆合同公演 『唐版 滝の白糸』関連「舞台美術ワークショップ」/背景作業編 10月21日(月)～23日(水) 入場者数20人(大スタジオ)
- ・古典芸能ワークショップ『おはなしに音をつけようー囃子方のしごとー』こどもクラス I II /おとなクラス I II 11月17日(日)、24日(日) 入場者数94人(中スタジオ)
- ・KAAT舞台芸術講座 KAAT×地点 舞台『悪霊』トークイベント 舞台演出家と映画監督が読み解くドストエフスキー『悪霊』 3月11日(火) 入場者数55人(中スタジオ)

		<p>●人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KAAT舞台技術ワークショップ 創作を支える舞台技術 2014『舞台技術を体験する』 1月14日(火)～17日(金) 入場者数41人(ホール) ・インターンシップの受け入れ 前期①7月17日(水)～10月16日(水) 舞台技術9名/劇場運営6名/後期②1月12日(日)～3月24日(月) 舞台技術6名/劇場運営13名 合計34名
4 (指定管理業務)	<p>事業の収支バランスの安定を図る取組みについて <提案内容の概要></p> <p>a) 収支バランスの基本的考え方を定める取組み b) 指定管理料以外の収入確保の取組み c) 広報宣伝・営業の強化 d) 外部資金獲得への取組み</p>	<p>広報宣伝・営業、チケット販売等の強化により事業収入の確保に努めるとともに、外部資金の獲得にも努め、収支バランスの安定を図った。</p> <p>【外部資金獲得状況】※財団全体の年間実績値 ・法人賛助5,950千円、個人賛助540千円、広告協力650千円、チケット購入協賛150千円</p> <p>・補助金・助成金 【文化庁】劇場音楽堂等活性化事業 <特別支援事業>69,908千円 <共同制作事業>44,138千円(県民ホール分) <ネットワーク構築支援事業>5,314千円</p> <p>【その他】日本芸術文化振興会1800千円 地域創造6,550千円、ロームミュージックファンデーション700千円ほか</p>

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考(指導事項等)
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月8日	/	○	○	○	無	「ジゼル」、「洪さ知らズ大オーケストラ×KAAT『天幕洪さ船』」をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
11月	12月10日	/	○	○	○	無	「ファンタスティック・ガラコンサート2013」、「和田合戦女舞鶴」、「唐版 滝の白糸」をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
12月	1月10日	/	○	○	○	無	「ロスト・イン・ヨンカーズ」、「地面と床」をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
1月	2月10日	/	○	○	○	無	「日常/オフレコ×アートコンプレックス2014」をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
2月	3月10日	/	○	○	○	無	「太平記忠臣講釈」、「国際舞台芸術ミーティング(TPAM) in横浜2014」をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。
3月	4月10日	/	○	○	○	無	「アンサンブルリリ・リサイタル(杜のホールはしもと)」、「悪霊」をモニタリング。業務が適切に行われていることを確認した。

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の 10 日まで

2 収支状況

評価 C

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

【本館】

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額	うち納付金	収支差額	
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計				
募集時の県積算額 (参考)		583,000	245,000	81,772	909,772	909,772		0	
年度計画	前年度	583,000	245,000	91,774	919,774	919,774	0	0	
	上半期	236,455	122,502	14,328	373,285	389,447		▲ 16,162	
	下半期	346,545	122,498	77,446	546,489	530,327		16,162	
	今年度	576,153	174,083	110,555	860,791	860,791	0	0	
	上半期	261,356	130,561	13,000	404,917	447,339		▲ 42,422	
	下半期	314,797	43,522	97,555	455,874	413,452		42,422	
上半期合計		261,356	123,924	14,099	399,379	378,827		20,552	
対収支計画比		0.0%	▲ 5.1%	8.5%	① ▲ 1.4%	② ▲ 15.3%	③	4.6%	
通年実績	10月	34,395	25,974	1,848	62,217	95,667		▲ 33,450	
	11月	40,493	25,796	29,458	95,747	53,517		42,230	
	12月	80,970	3,887	9,400	94,257	90,110		4,147	
	1月	55,344	2,333	6,250	63,927	73,813		▲ 9,886	
	2月	39,131	1,565	11,731	52,427	38,446		13,981	
	3月	64,464	2,692	64,165	131,321	168,885		▲ 37,564	
	下半期合計		314,797	62,247	122,852	499,896	520,438	0	▲ 20,542
	対収支計画比		0.0%	43.0%	25.9%	① 9.7%	② 25.9%	③	▲ 5.0%
	通年合計		576,153	186,172	136,950	899,275	899,266	0	9
	対収支計画比		0.0%	6.9%	23.9%	① 4.5%	② 4.5%	③	0.0%
参考	前年度 下半期実績合計	351,061	117,145	251,419	719,625	753,164		▲ 33,539	
	対前年度 下半期実績比				▲ 30.5%	-30.9%			

※その他収入の内容 事業収入、立替収入、受取補助金、受取寄付金、受取負担金、雑収入等

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

【芸術劇場】

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		うち納付金	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計				
募集時の県積算額 (参考)		597,000	171,000	287,598	1,055,598	1,055,598		0	
年度計画	前年度	607,969	95,787	199,012	902,768	902,768	0	0	
	上半期	291,182	47,886	11,068	350,136	433,324		▲ 83,188	
	下半期	316,787	47,901	187,944	552,632	469,444		83,188	
	今年度	596,754	95,787	261,103	953,644	953,644	0	0	
	上半期	305,986	47,886	78,267	432,139	446,174		▲ 14,035	
	下半期	290,768	47,901	182,836	521,505	507,470		14,035	
通年実績	上半期合計	305,986	32,176	55,563	393,725	282,951		110,774	
	対収支計画比	0.0%	▲ 32.8%	▲ 29.0%	① ▲ 8.9%	② ▲ 36.6%	③	24.8%	
	10月	40,317	7,875	22,893	71,085	89,615		▲ 18,530	
	11月	45,165	29,095	39,442	113,702	106,439		7,263	
	12月	71,928	8,275	8,374	88,577	58,033		30,544	
	1月	53,461	3,310	1,068	57,839	50,969		6,870	
	2月	20,092	3,034	49,804	72,930	39,514		33,416	
	3月	59,805	8,325	73,315	141,445	311,782		▲ 170,337	
	下半期合計	290,768	59,914	194,896	545,578	656,352	0	▲ 110,774	
	対収支計画比	0.0%	25.1%	6.6%	① 4.6%	② 29.3%	③	▲ 21.8%	
	通年合計	596,754	92,090	250,459	939,304	939,304	0	0	
	対収支計画比	0.0%	▲ 3.9%	▲ 4.1%	① ▲ 1.5%	② ▲ 1.5%	③		
	参考	前年度 下半期実績合計	316,787	40,230	202,091	559,108	605,800		▲ 46,692
対前年度 下半期実績比					▲ 2.4%	8.3%			

※その他収入の内容 事業収入、受託収入、立替収入、受取補助金、受取寄付金、雑収入等

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

【合計】

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		うち納付金	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計				
募集時の累積算額 (参考)		1,180,000	416,000	369,370	1,965,370	1,965,370		0	
年度計画	前年度	1,190,969	340,787	290,786	1,822,542	1,822,542	0	0	
	上半期	527,637	170,388	25,396	723,421	822,771		▲ 99,350	
	下半期	663,332	170,399	265,390	1,099,121	999,771		99,350	
	今年度	1,172,907	269,870	371,658	1,814,435	1,814,435	0	0	
	上半期	567,342	178,447	91,267	837,056	893,513		▲ 56,457	
	下半期	605,565	91,423	280,391	977,379	920,922		56,457	
通年実績	上半期合計	567,342	156,100	69,662	793,104	661,778		131,326	
	対収支計画比	0.0%	▲ 12.5%	▲ 23.7%	① ▲ 5.3%	② ▲ 25.9%	③	14.7%	
	10月	74,712	33,849	24,741	133,302	185,282		▲ 51,980	
	11月	85,658	54,891	68,900	209,449	159,956		49,493	
	12月	152,898	12,162	17,774	182,834	148,143		34,691	
	1月	108,805	5,643	7,318	121,766	124,782		▲ 3,016	
	2月	59,223	4,599	61,535	125,357	77,960		47,397	
	3月	124,269	11,017	137,480	272,766	480,667		▲ 207,901	
	下半期合計	605,565	122,161	317,748	1,045,474	1,176,790	0	▲ 131,316	
	対収支計画比	0.0%	33.6%	13.3%	① 7.0%	② 27.8%	③	▲ 14.3%	
	通年合計	1,172,907	278,262	387,410	1,838,579	1,838,570	0	9	
対収支計画比	0.0%	3.1%	4.2%	① 1.3%	② 1.3%	③	0.0%		
参考	前年度 下半期実績合計	667,848	157,375	453,510	1,278,733	1,358,964		▲ 80,231	
	対前年度 下半期実績比				▲ 18.2%	-13.4%			

※その他収入の内容

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	○	○	×	【本館】 上半期に予定していた「ワルキューレ」の公演に係る経費及び財団施工の工事費を下半期で執行したため。 【芸術劇場】 上半期に予定していた「耳なし芳一」「iSAMU」「ピノキオ～または白雪姫の悲劇～」の公演にかかる経費を下半期に執行したため。 ※通年では、支出の増減は±10%未満。
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	○	×	【本館・芸術劇場】 上半期支出予定分を下半期で支出したため。 ※通年では、収支差額のマイナスなし。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	442,442	(各所営繕) 二酸化炭素消火容器弁交換工事 (2,887千円) (依頼工事) 県民ホール本館エレベーター改修工事 (88,200千円) 県民ホール本館改修及び耐震補強工事 (351,355千円) ※ ※平成25～26年度継続費事業
合計	442,442	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0 (期首)	
	0 (期末)	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 A

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定してい
ない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定
員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

		利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	本館	77,111 人	37,205 人	207.3 %
	芸術劇場	14,466 人	14,821 人	97.6 %
11月	本館	79,481 人	60,461 人	131.5 %
	芸術劇場	30,622 人	13,319 人	229.9 %
12月	本館	3,552 人	71,995 人	4.9 %
	芸術劇場	16,861 人	18,205 人	92.6 %
1月	本館	65 人	25,834 人	0.3 %
	芸術劇場	12,020 人	3,245 人	370.4 %
2月	本館	51 人	58,053 人	0.1 %
	芸術劇場	8,137 人	12,466 人	65.3 %
3月	本館	47 人	54,847 人	0.1 %
	芸術劇場	12,607 人	17,140 人	73.6 %
合計	本館	160,307 人	308,395 人	52.0 %
	芸術劇場	94,713 人	79,196 人	119.6 %

		利用者数	前年同期 利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	本館	160,307 人	308,395 人	127,388 人	125.9 %	52.0 %
	芸術劇場	94,713 人	79,196 人	98,770 人	95.9 %	119.6 %
	計	255,020 人	387,591 人	226,158 人	① 112.8 %	② 65.8 %
上半期計	本館	347,804 人	357,321 人	322,500 人	107.9 %	97.4 %
	芸術劇場	72,772 人	72,291 人	98,770 人	73.7 %	100.7 %
	計	420,576 人	429,612 人	421,270 人	① 99.9 %	② 97.9 %
合計	本館	508,111 人	665,716 人	449,888 人	113.0 %	76.4 %
	芸術劇場	167,485 人	151,487 人	197,540 人	84.8 %	110.6 %
	計	675,596 人	817,203 人	647,428 人	① 104.4 %	② 82.7 %

※目標値の設定の有無

設定している

 期間 通年
 基準 指定管理者提案値

その他の場合の期間

 その他の場合の基準

※本館については、平成25年12月～平成26年9月まで改修工事による休館のため、当初の目標値に対して過去5年平均の10～11月利用者数の割合(39.5%)を乗じた値(127,388人)を置いている。

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5%（目標値対比増減率105%以上または95%以下）	×	○	×	【本館】 改修工事に伴う休館前に、公演等の施設利用を積極的に進めたことによる入場者数の増によるもの。
② 前年対比±5%（前年同期対比増減率105%以上または95%以下）	×	○	○	<下半期・通年とも> 【本館】 改修工事に伴う休館による入場者数の減によるもの。 【芸術劇場】 芸術劇場初の1ヶ月の長期貸館公演による入場者数の伸びによるもの。

<参考> 【本館】

施設の最大利用可能人数

	大ホール	小ホール	会議室	ギャラリー			合計
定員（1日あたりの延べ人数）	2,488	433	264	—			3,185
年間利用可能日数	225	232	241	235			
最大人数	559,800	100,456	63,624	—	0	0	723,880
半期	279,900	50,228	31,812	—	0	0	361,940

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

【芸術劇場】

施設の最大利用可能人数

	ホール	大スタジオ	中小スタジオ	アトリエ			合計
定員（1日あたりの延べ人数）	1,150	220	—	—			1,370
年間利用可能日数	317	336	351	353			
最大人数	364,550	73,920			0	0	438,470
半期	182,275	36,960	0	0	0	0	219,235

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 A

（評価の目安）

「満足」（４段階評価及び５段階評価の場合、上位２段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

		とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位２段階の割合
総合満足度の回答結果	本館	0	20	5	0	0	25	20 (80.0%)
	芸術劇場	0	3	0	0	0	3	3 (100.0%)
〔参考〕 上半期結果		－	－	－	－	－	0	0 ()

※今年度の実施予定 上半期 回 下半期 1 回 その他

※配布・回収件数 配布 本館 25 件 回収 本館 25 件 回収率 本館 100 %
KAAT 3 件 KAAT 3 件 KAAT 100 %

※実施方法 利用者等に配布 リストから選択 リストから選択 リストから選択

5 苦情・要望等

評価 B

（評価の目安）

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

【本館】

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	88 (0)	89 (0)
〔参考〕上半期結果	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	112 (0)	112 (0)

【芸術劇場】

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	28 (0)	30 (0)
〔参考〕上半期結果	0 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	21 (0)	24 (0)

分野	概要	対応状況
施設・設備	<p>【本館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段がきつい、エレベーター、エスカレーターの設置、施設のバリアフリー化の要望 	<p>大ホールの上層の客席に行くエレベーターがないことにより、多くのお客様からエレベーター設置希望が出ていることへの改善策として、業務用エレベーターでの案内を行っている。より多くのお客様にご利用いただけるよう、エレベーター停留所による案内方式（2階ロビーと上層階にエレベーター案内をお待ちいただく掲示を設置し、適宜業務用エレベーターによる案内をする方法）を行っている。今後も公演によって案内スタッフを増員する等、状況に応じて対応していく。（例：実績：24年11月のエレベーター利用163組に対し、25年11月は233組）</p>
	<p>【KAAT】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロッカーの有無が事前に知らされておらず、わかりにくい。（2件） 	<p>ホームページの観劇サポート欄に、ロッカーの情報を掲載するようにした。</p>
	<p>【KAAT】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日券の購入場所がわかりにくい。 	<p>建物2Fのチケットインフォメーションに、当日券情報を常に掲示するようにした。また、ホームページにも当日券情報欄を増やし、トップページ、各公演情報ページでもそれぞれ当日券情報がすぐわかるようにし、活用している。</p>
職員対応	<p>【本館】</p> <p>清掃員らしき職員のお客様への言動に対するクレームと、清掃員が一般のエレベーターを使用することについて</p>	<p>匿名のクレームであったため、特別の対応は行っていないが、職員は特別の事情がない限りは、職員用のエレベーターを使用などを改めて周知徹底した。</p>
	<p>【KAAT】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演終演後、すぐに退出させられる感じが不快。 	<p>当日の公演内容を案内スタッフと打合せでよく確認し、状況を見ながらお客様に配慮した案内を心掛けるようにしている。</p>
事業内容	<p>【KAAT】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子席を設けてほしい。 	<p>今後の事業計画において検討していく。</p>
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 B

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した(事故等が発生していない場合も含む)。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
10月15日	【本館】大ホールロビー、カーテンウォール及び正面玄関脇等で雨漏りが発生した。翌16日にも同様の事例がギャラリー、会議室、ホール事務所等複数個所で発生した。	屋上及びカーテンウォール等の防水機能劣化による漏水であることが判明した。	応急的な措置として、清掃等を行った。なお、現在の県施工の改修工事で屋上の防水工事を行うほか、財団施工によるカーテンウォールの修復工事を行う。
2月6日	【KAAT】警備が深夜外周巡回時に、南車路シャッター横のガラスポスターケースが故意に何者かに割られているのを発見した。	設置されている防犯カメラの映像を確認したが、当該箇所は死角となっていた。	加賀町警察に通報し、現場確認をした。また、ポスターケースは養生し、後日修理を行った。 再発防止のため、新たに防犯カメラを増設した。

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		